

緑園連合 News

祝創刊10周年記念号

2020年4月15日 vol.40

発行 緑園連合自治会
 発行責任者 成田 俊人
 編集責任者 貝沼 貞夫

成田連合自治会長のご挨拶

新型コロナウイルスの感染拡大が続いており、2月下旬以降、多くのイベントや会合が中止もしくは規模縮小となっております。この先いつになったら収束するのか見通せない状況ですが、その中で連合 News 第40号を発行できることを心よりお慶び申し上げます。

10年間にわたり発行を続けてこられた、長谷川さんを始め歴代の編集委員の皆様のご努力とご尽力に深く敬意を表します。

今後、緑園義務教育学校の開校、相鉄線の東急線への乗り入れ等が予定されております。又、緑園西小学校の後活用、緑園地区の活性化、団塊の世代が75歳以上になる2025年問題等の課題も山積みです。

連合 News は自治会活動の紹介から諸課題に対する特集まで幅広く企画して行ければと思います。更に20年、30年と発行を継続することを祈って、私からの挨拶とさせていただきます。

緑園連合自治会は、2010年7月に現在の緑園連合 News を創刊し、以降年4回発行し、本年4月号(今号)をもって40号、創刊10周年を迎えました。

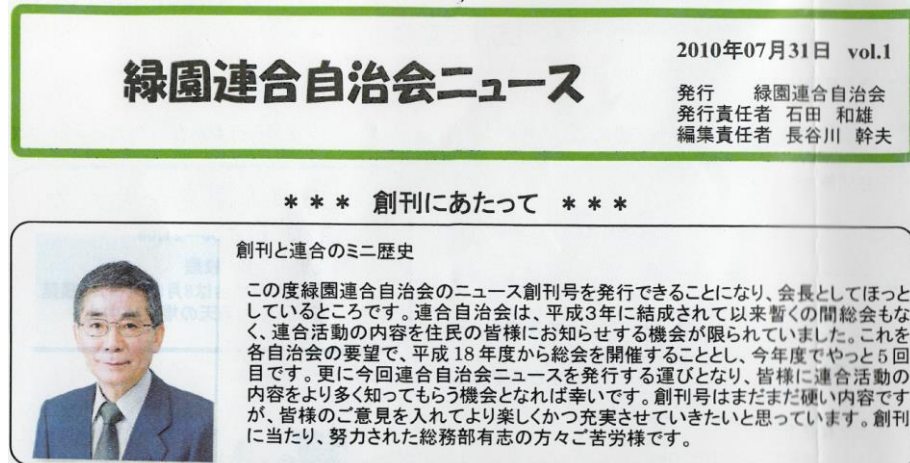
今号・創刊10周年記念号では、創刊のいきさつを振り返りながら、令和の新時代にふさわしいものを求めて展望することと致しました。

<創刊のいきさつを振り返る>

発刊に当たっては、当時の連合自治会会長の石田和雄氏が、住民の皆様へ連合活動の内容をより多く知っていただく機会となればとの思いで主導され、総務部長の長谷川幹夫とともに、編集委員を募り、協力を得て発刊を実現したものです。

創刊号で愛称を募集しましたが、最終的には石田会長の発案で現在の呼び名に決まりました。

創刊号 抜粋



<創刊当時の主な出来事>

・前年、泉区に地域協議会が発足しました。併せて、12地区に地区経営委員会が発足し、当緑園地区では緑園地区活性化委員会発足へと繋がりました。(関連記事：創刊号に特集して掲載)

・当年、2010年9月5日(日)、「この街に緑園中学校を！！—We Can Change—」でお馴染みの緑園中学校設置推進協議会主催の「緑園地区住民フォーラム」が、サンステージ西の街ホールにおいて盛大に開催されました。当日は、市議の先生方や元国会議員の先生を招いての活発な意見交換会が実施され、今から2年後に開校を予定している緑園義務教育学校の実現に向けての、大きなステップとなりました。(関連記事：第2号に特集して掲載)

第2号 抜粋

*** 緑園地区住民フォーラム ***

9月5(日)14:00よりサンステージ西の街ホールにおいて緑園地区住民フォーラムが開催されました。



会場の方々熱心に聞かれ質疑も盛んに行われました。

主催は

「この街に緑園中学校を！！—We Can Change—」でお馴染みの緑園中学校設置推進協議会です。

緑園中学校設置推進協議会は「市立中学校」の設立を目指し2003年頃より活動を開始しており、現在では緑園連合自治会/緑園都市コミュニティ協会(RCA)/エステアベニュー緑園都市自治会/名瀬たかの台自治会/名瀬第4町内会/堂山団地自治会/岡津西部町内会/新橋上自治会/地域・子供の笑顔を守る会が参加しております。

ブローグとして住民有志による落語から始まり、活動報告及び現状報告と対策について協議会を中心としたメンバーにより発表されました。後半は横浜市議の先生方と連合自治会石田和雄会長を中心とした住民代表メンバーによる意見交換会が実施されました。

・翌2011年3月11日午後2時50分頃、東日本大震災が発生し、甚大な被害をもたらされました。(関連記事：第4号に防犯・防災特集として掲載)

第4号 抜粋

東日本大震災により、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます

*** 石田会長 震災の件と退任のご挨拶 ***

緑園連合自治会 会長 石田 和雄



* 東日本大震災の発生

— 被災された方々に、心から哀悼の意を表します。 —

本年3月11日午後2時50分頃、東北東海岸、および関東東部を直撃した、500年に一度または1000年に一度とも言える大地震、大津波が発生し、大きな被害をもたらしたことは、緑園の皆様もご承知のことと思います。死者12,000名を超え、行方不明の方々も15,000名近くおられ、連日の新聞、テレビの報道を見るにつけ、心が痛みます。家を失い、最愛の人達を失った方々に、心から哀悼の意を表したいと存じます。これから、家のこと、家族のこと、心のケアを含め、言葉では表わせないご苦労があると思います。一日でも早い復旧、復興を願いたいと思います。東北、北関東の方々ガンバってください。私達も応援します。

<創刊以来編集に関わった方々(敬称略)>

号	発行責任者 (連合自治会会長)	編集責任者 (連合自治会総務部長)	編集委員 (連合自治会総務副部長他)
1~4	石田和雄(6)	長谷川幹夫(2)	佐藤佑幸(2) 西口正之(2)
5~20	長谷川幹夫(2)	菅野英夫(5)	大木英生(4西) 岸川久美子(4西)
21~29	八谷道紀(4西)	伊藤正男(6)	田谷善宏(3) 現 畑浩太(3)
30~36	成田俊人(7)	伊藤正男(6)	飯塚智明(6) 現 鈴木英範(1) 現
37~	成田俊人(7) 現	貝沼貞夫(2) 現	長谷川幹夫(2) 現

・発刊当時は編集会議を開催しましたが、現在はメール中心で行っています。



編集風景

<今後の展望>

以上のように、様々な社会的出来事や動きの中で、連合自治会の活動中心に、紙面で地域の皆さんにお伝えしようと努めてスタートし今日まで続けてきました。この活動は、多くの方々のスキルと厚意に支えられて成り立っております。これからも、皆様にご理解いただいて、より有意義なものにして行きたいものです。

◇◇ 緑園新春マラソン大会が開催されました ◇◇

2月1日(土)、緑園連合自治会主催、RCA 他全部で6団体後援緑園新春マラソン大会が緑園東小学校・緑園5丁目内道路を会場として盛大に開催されました。当日は、早朝から好天に恵まれ、役員の方々は、コースの各所に分かれて、安全対策等の準備を実施し、本部の方々は参加者の受付の準備に当たっていました。今年も、小学生低学年男女、同高学年男女、一般男女(～40歳)、一般男女(41歳～)に分かれて、決められた距離を走り、各種目の上位入賞者に記念品が授与されました。

開会式には、泉区区長額田樹子氏はじめ職員の皆さんや議員の先生方、緑園東小学校、同西小学校関係者など多くの来賓に出席いただき、代表の方々にご挨拶いただきました。額田区長さんは、一般の部に参加され力走されていました。参加者や応援の方々に温かい缶入りおしるこ、コーンスープが振る舞われました。



成田会長挨拶 額田区長挨拶 力走する選手たち スタートを待つ選手たち 温かい飲み物サービス

◇◇ 令和元年度研修会:リサイクル関連施設見学報告 ◇◇

2月4日(火)、緑園地区環境事業推進委員会(高田明会長)主催、令和元年度研修会:リサイクル関連施設見学会が開催されました。この見学会には、日ごろ各自治会で環境改善に取り組んでおられるメンバーを中心に総勢17名が参加、緑園都市駅前に集合し、用意されたバスで横浜市金沢区に向けて出発しました。見学施設は①横浜市資源循環局金沢工場②同資源循環公社金沢資源選別センター(南部市場での昼食を挟んで)③神奈川区にあるハマウイング:風力発電施設の3か所です。参加された皆さんは各施設を見て回り、改めてごみの選別による資源化の重要性や、再生可能エネルギーについて理解を深められたようです。



①説明を受ける参加者 ①工程見学 ②選別工程の説明 高田会長(南部市場にて) ③ハマウイング 全高118mの風車

◇◇ 各自治会の行事報告 ◇◇

緑園四丁目東

1月12日(日)、東の街自治会主催もちつき大会がコミセン前広場にて開催されました。当日は好天に恵まれたこともあり、多くの住民の皆さんが繰り出されにぎわいを見せていました。もちつきや、綿菓子、豚汁、お酒などもふるまわれていました。恒例の坂の駅ポソテによる新鮮野菜の初売りも行われ、飛ぶように売られていました。



もちつき 綿菓子

緑園連合自治会 総会についてご案内;

来る5月16日(土)、緑園地域交流センターにて開催を予定していましたが緑園連合自治会総会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、集会形式を避け、書面での議決で行うことと致しました。また、永年在職者表彰については、区役所にて日程や方法について調整中とのことです。

◇◇ 緑園東・西小学校学習発表会開催報告 ◇◇

緑園地区活性化委員会小学生作文コンクール部会(鈴木照明部会長)は、両校と相談の結果、昨年度まで実施してきた個人ベースでのコンテスト形式の見直しを図り、試みに両校の全学年別に「まちと私たちの未来」について模造紙に表す形式に変更することに致しました。

両校では、全学年毎に生活科や総合的学習の時間に、「まちへの思い」や「まちの魅力」あるいは2年後に開校が予定されている義務教育学校への思いなどについて模造紙にまとめられました。

1月25日(土)、緑園地域交流センターにて開催の活性化委員会定例会の場で、全作品の展示や、西小学校4年生と東小学校6年生の代表児童による発表が行われました。当日は泉区副区長鳥海仁氏にご臨席いただき、ご挨拶いただきました。

全作品は、「学習発表会作品集」に編纂されました。



副島校長挨拶 立田校長講評 右)鳥海副区長 作品集

◇◇ 「相鉄・JR直通線の開業について」講演会報告 ◇◇

2月9日(日)、緑園地区活性化委員会・タスカル部会主催講演会が緑園地域交流センターにて開催されました。今回は、講師として相鉄ホールディングス(株)経営戦略室第三統括担当課長山北奈穂子氏をお招きし、「相鉄・JR直通線の開業について」と題して講演いただきました。

2019年11月30日、相鉄・JR直通運転が開始されました。工事中のビデオ紹介もされ、相鉄本線の西谷駅とJR東海道貨物線の横浜羽沢駅付近との間に新設した連絡線を通り、大崎、恵比寿、渋谷、新宿方面へ運行する整備延長は約2.7km、運行本数は朝のラッシュの時間帯で1時間に4本程度の運行となる。これにより、二俣川～新宿の所要時間が短縮され44分となりました。

さらに3年後の2022年度下期には、相鉄・東急直通線開業が予定されている。JR直通線の羽沢横浜国大駅から更に連絡線を約10km新設し、新横浜駅を経由して東急線の日吉駅に接続することで相鉄線と東急線及び目黒線との相互直通運転を行う事が紹介され、これも工事現場のビデオで紹介されました。

参加者28名の方々は熱心に講演を聞き、直通運行についての問題点や次の東急線との直通運行についての要望など活発な意見交換の場となりました。

路線図 <相鉄ホームページより>



山北課長 会場風景

編集後記

今号では緑園 News 創刊10周年記念特集としました。新型コロナウイルスで地域イベントも自粛せざるを得ない状況ですが、緑園地域一丸となって乗り切りましょう。次号は7月15日発行予定です。

【編集委員】貝沼貞夫、長谷川幹夫、田谷善宏、鈴木英範、飯塚智明